| 学校番号 | 3028 |
|---|---|

# 令和８年度　理数科

| 教科 | (専)理数 | 科目 | 理数数学特論 | 単位数 | ６単位 | 年次 | ３年次(理科) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「数学Ⅲ」(数研出版)、「数学 C」(数研出版) | | | | | | |
| 副教材等 | 新課程 チャート式「基礎からの数学Ⅲ＋C［複素数平面，式と曲線］」(数研出版)<br>「2026 スタンダード数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C［ベクトル］受験編」(数研出版)<br>新課程「オリジナル・スタンダード数学演習Ⅲ・C［複素数平面，式と曲線］受験編」(数研出版)<br>「2026 数学Ⅰ・A プレノート Full」(数研出版)<br>「2026 数学Ⅱ・B プレノート Full」(数研出版) | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では知識の蓄積だけでなく，例題および問題演習を積極的に行うことにより，それらの知識を活用する力と論理的に表現する力を育成していきます。
・数学Ⅲの単元では，習得すべき公式や定理も多く，計算も複雑になるので，しっかりと復習をしましょう。
・演習問題を通じて，数学Ⅰ，数学 A，数学Ⅱ，数学 B，数学Ⅲ，数学 C の内容の更なる定着を図ります。解答を見ずに自分でしっかり解けるよう粘り強く問題に取り組みましょう。
・「予習」→「授業」→「復習」のサイクルをしっかり身に着けましょう。
・問題演習の扱いについては担当者の指示に従ってください。
・家庭学習で既習事項の定着をしっかり図ってください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
「積分法」(数学Ⅲの内容)について理解し，基礎的な公式や定理などの知識を習得する。
既習単元についての様々な事象を数学的に処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
「積分法」(数学Ⅲの内容)，および，既習単元についての事象を数学的に捉え，論理的に考察，表現できる。
【学びに向かう力、人間性等】
「積分法」(数学Ⅲの内容)，および，既習単元の内容について関心をもつとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用する。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・数学的活動を通して，積分法(数学Ⅲの内容)において，事象を数学的に考察し，処理する仕方や推論の技能を身につけ，的確に問題を解決できる。<br>・問題演習を通して，既習単元において様々な事象を数学的に処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 | ・数学的活動を通して，積分法(数学Ⅲの内容)における数学的な見方や考え方を身につけ，事象を数学的に捉え，論理的に考察するとともに，過程を振り返り多面的・発展的に考察し，表現できる。<br>・問題演習を通して，既習単元において数学的な見方や考え方を身に付けている。 | ・数学的活動を通して，積分法(数学Ⅲの内容)における考え方に関心をもつとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとする。<br>・数学のよさを認識し，数学を積極的に活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，事象を数学的に探究しようとする態度を養う。<br>・問題演習を通じて，他者の解法などを考察し，互いに学びあう姿勢をみせる。 |
| 上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | a | b | c |
| 前期 | 積分法（数学Ⅲの内容） | 定積分で表された関数<br>定積分と和の極限，不等式<br>関連発展問題 | a: 積分法に関する基本的な概念を理解し，知識を身につけ，積分法の特徴をいろいろな方法で表現・処理する技能を身につけている。<br>b: 積分法を考察し，その過程を振り返ったりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。<br>c: 積分法に関心をもつとともに，それらの有用性を認識し，事象の考察に活用しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | 提出物、授業への取り組みの観察等 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 前期 | 積分法の応用（数学Ⅲの内容） | 面積<br>体積<br>曲線の長さ，速度と道のり<br>微分方程式 | a：積分法の既習事項を利用して応用的な知識を身につけ，微分法の既習事項を利用して表現・処理する技能において応用しようとしている。<br>b：面積，体積，曲線の長さ，速度と道のりなどを求める場面で，積分法の既習事項を利用して，数学的な見方や考え方で応用しようとしている。<br>c：積分法の既習事項を利用して応用しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | 提出物、授業への取り組みの観察等 |
| 前期 | 問題演習 | 理数数学Ⅰ・Ⅱ・特論での既習単元全般 | a：既習単元の基本的な性質を理解し，知識を身につけ，既習単元の内容を用いて表現・処理する仕方などの技能を身につけている。<br>b：問題演習を通して，数学的な見方や考え方を身につけている。<br>c：既習の単元の性質を考察しようとしている。問題演習を通じて，他者の解法などを考察し，互いに学びあう姿勢をみせる。 | 定期考査 | 定期考査 | 提出物、授業への取り組みの観察等 |
| 後期 | 問題演習 | 理数数学Ⅰ・Ⅱ・特論での既習単元全般 | a：既習単元の基本的な性質を理解し，知識を身につけ，既習単元の内容を用いて表現・処理する仕方などの技能を身につけている。<br>b：問題演習を通して，数学的な見方や考え方を身につけている。<br>c：既習の単元の性質を考察しようとしている。問題演習を通じて，他者の解法などを考察し，互いに学びあう姿勢をみせる。 | 定期考査 | 定期考査 | 提出物、授業への取り組みの観察等 |

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度